

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月12日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社 田 谷
【英訳名】	TAYA Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田谷 和正
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前二丁目18番19号
【電話番号】	03 - 5772 - 8401
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理グループ長 佐藤 桂子
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区神宮前二丁目18番19号
【電話番号】	03 - 5772 - 8401
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理グループ長 佐藤 桂子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期 累計期間	第36期 第2四半期 累計期間	第35期 第2四半期 会計期間	第36期 第2四半期 会計期間	第35期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	6,463,346	6,240,842	3,230,324	3,094,385	13,000,245
経常利益又は経常損失()(千円)	134,539	159,411	81,545	43,532	297,582
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	75,711	223,797	35,246	85,591	198,753
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-	-	-
資本金(千円)	-	-	1,480,180	1,480,180	1,480,180
発行済株式総数(株)	-	-	5,100,000	5,100,000	5,100,000
純資産額(千円)	-	-	4,722,275	4,510,111	4,845,198
総資産額(千円)	-	-	8,146,094	8,319,674	8,772,225
1株当たり純資産額(円)	-	-	933.73	891.81	958.07
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)	14.97	44.25	6.97	16.92	39.30
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-	-	22
自己資本比率(%)	-	-	58.0	54.2	55.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	262,405	149,547	-	-	615,837
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	269,376	316,340	-	-	390,892
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	296,028	59,265	-	-	1,732
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	887,095	891,447	1,416,771
従業員数(人)	-	-	1,859	1,924	1,764

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、該当事項がないため記載しておりません。

4. 第35期第2四半期累計期間及び第35期第2四半期会計期間並びに第35期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、第36期第2四半期累計期間及び第36期第2四半期会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

該当事項はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	1,924 (193)
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期会計期間の平均人員を()外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【仕入及び販売の状況】

(1)仕入実績

商品及び美容材料の仕入実績

区分	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
商品(千円)	163,212	107.6
美容材料(千円)	120,925	94.7
合計(千円)	284,137	101.7

- (注) 1.金額は実際仕入価格で表示しております。
2.上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

取扱区分別	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
美容施術(千円)	2,746,233	95.1
商品(千円)	334,543	102.0
その他(千円)	13,608	97.9
合計	3,094,385	95.8

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3)店舗別売上高

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
C ススキノラフィラ店	10,112		10,398	
S ススキノラフィラ店	11,634		10,771	
北海道計	21,746	0.7	21,170	0.7
仙台141店 (20年8月閉鎖)	8,026		-	
仙台泉パークタウン タピオ店 (20年10月開店)	-		13,020	
宮城県計	8,026	0.2	13,020	0.4
春日部ロビンソン店	20,760		22,447	
伊勢丹 I ブラザ東浦和店	16,145		16,236	
大宮店	23,154		21,570	
大宮ステラタウン店	15,249		18,290	
C南越谷OPA店	14,966		13,642	
埼玉県計	90,277	2.8	92,187	3.0

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
本八幡店	16,281		12,692	
あすみが丘店	23,234		19,675	
千葉そごう店	54,133		52,598	
CRYSTAL WORLDイ クスピアリ店	38,537		35,705	
blue label イトーヨーカドー八 千代店	9,858		9,696	
松戸店	9,286		7,451	
イオン津田沼SC店	35,527		36,530	
船橋店	14,010		11,309	
流山おおたかの森S・C店	22,056		23,021	
Cオーロラモールジュンヌ店	25,507		23,020	
Cそごう柏店	33,403		30,250	
C松戸店	11,990		12,908	
Sダイエー千葉長沼店	11,175		12,749	
千葉県計	305,004	9.4	287,612	9.3
麹町店 (平成21年1月閉鎖)	27,668		-	
麹町店 (平成21年6月開店)	-		18,887	
九段店	15,487		15,993	
町田店	33,729		29,384	
経堂店	18,644		16,798	
INTERNATIONAL原宿店	25,259		25,413	
赤堤店	13,105		13,024	
三軒茶屋店	13,439		12,903	
つくし野店	16,233		17,970	
浜田山店	13,991		12,717	
広尾店	13,858		12,399	

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
多摩カリヨン店	20,223		17,962	
伊勢丹府中店	49,606		47,590	
自由が丘店	22,979		22,163	
グランデュオ立川店	46,531		44,078	
東急百貨店吉祥寺店	32,173		31,531	
田園調布店	45,058		43,033	
blue label アルカキット錦糸町 店	22,836		22,931	
西葛西店	12,380		12,128	
丸の内店	41,883		43,126	
blue label ひばりが丘店	13,644		12,712	
マルイファミリー国分寺店 (20年8月閉鎖)	14,376		-	
江古田店	7,913		6,538	
北千住マルイ店	45,412		40,476	
GRAND TAYA	90,205		93,274	
池袋メトロポリタンプラザ店	29,759		31,209	
祐天寺店	12,212		12,970	
丸井吉祥寺店 (20年10月開店)	-		15,232	
二子玉川店 (21年9月開店)	-		5,850	
Cアトレ大井町店	27,011		26,756	
C銀座コア店	22,964		21,407	
C青山店	18,332		16,587	
C新宿店	25,519		21,010	
Cアトレ恵比寿店	29,634		24,954	
C丸井錦糸町店	14,843		15,575	
T&C銀座本店	41,000		39,788	
T&C自由が丘店	31,804		28,387	

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
C P グランデュオ立川店	30,254		24,944	
C P ルミネ町田店	30,085		26,548	
S 聖蹟桜ヶ丘オーパ店	14,028		13,981	
S グランベリーモール南町田店	22,360		22,290	
S 京王八王子SC店	10,848		9,843	
S 渋谷公園通り店	16,951		15,346	
S 成城店	18,241		16,318	
S アトレ四谷店	24,495		24,206	
S メトロ・エム後楽園店	20,013		22,403	
S 十条店	15,593		14,850	
b h グランデュオ立川店	3,699		4,511	
東京都計	1,116,297	34.6	1,068,021	34.5
桂台店	21,022		21,506	
青葉台店	22,936		21,771	
市ヶ尾店	10,910		11,303	
あざみ野店	31,176		16,673	
藤が丘店	16,608		18,673	
もえぎ野店	13,879		14,174	
厚木店	16,080		13,028	
たまプラーザ店	26,837		27,682	
東林間店	9,882		8,619	
伊勢丹相模原店	59,255		54,121	
新百合丘オーパ店	30,246		22,954	
横浜元町店	16,254		16,168	
blue label イオンモール大和店	21,351		19,229	
大和店	11,705		11,608	

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
blue label イトーヨーカドー湘南台店	18,872		18,090	
blue label トレアージュ白旗藤沢本町店	16,869		15,181	
相模大野 (20年10月開店)	-		18,141	
C 青葉台東急スクエア店	17,961		17,940	
C たまプラーザ店	13,166		14,033	
C 新百合ヶ丘ビブレ店	18,752		18,495	
C クイーンズイースト横浜店	28,943		24,742	
C 横須賀モアーズシティ店	20,907		19,190	
C 鶴見店	8,353		9,180	
T & C あざみ野三規庭店	46,032		47,736	
S 小田原口ピンソン店	19,182		19,209	
S 綱島店 (21年9月開店)	-		2,148	
S 元住吉店	18,148		17,212	
神奈川県計	535,339	16.6	518,817	16.8
万代シティビルボードプレイス店	15,641		14,868	
S 新潟店	13,494		12,908	
新潟県計	29,135	0.9	27,777	0.9
S 岐阜リバーサイドモール店 (21年8月閉鎖)	9,369		3,150	
S 岐阜オーキッドパーク店	8,249		9,426	
岐阜県計	17,619	0.5	12,576	0.4
blue label イオン熱田SC店 (21年6月閉鎖)	11,993		-	
栄店	19,319		17,425	
C イオン熱田SC店	16,369		23,705	
愛知県計	47,682	1.5	41,130	1.3
S イオン四日市北SC店	11,335		12,517	
三重県計	11,335	0.3	12,517	0.4

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
ジェイアール京都伊勢丹店	47,656		49,073	
ミーナ京都店 (20年4月開店)	20,606		17,039	
C北大路ビブレ店	16,841		18,328	
S四条河原町阪急店	14,311		15,114	
京都府計	99,415	3.1	99,556	3.2
心斎橋店	22,157		18,885	
CハービスPLAZA店	44,877		36,417	
C近鉄上本町店	34,398		34,225	
CPあべのHoop店	29,840		23,675	
MDハービスPLAZAエント 店	61,120		55,536	
S北千里サティ店	14,088		12,657	
S泉佐野店	18,688		19,292	
Sコムボックス光明池店	19,459		17,344	
大阪府計	244,631	7.6	218,034	7.1
神戸店	28,154		21,015	
アスピア明石店	18,350		17,424	
C明石ビブレ店	16,797		14,881	
S加古川ヤマトヤシキ店	17,028		15,205	
兵庫県計	80,330	2.5	68,526	2.2
広島本通店	13,115		12,249	
blue label 福山キャスパ店	8,911		8,546	
広島ACCES店	18,719		14,756	
広島県計	40,746	1.3	35,552	1.1
Sイオンモール新居浜店	10,035		11,691	
愛媛県計	10,035	0.3	11,691	0.4

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
けやき通り店	27,475		28,504	
長住店	8,219		7,779	
香椎店	14,201		14,220	
春日店	15,903		14,973	
藤崎店	17,564		17,190	
博多ハイアット店	39,347		41,131	
小倉アイム店	28,063		23,486	
大橋店	24,103		19,758	
天神コア店 (21年8月閉鎖)	18,033		6,163	
ステーションホテル小倉店	10,434		9,116	
INTERNATIONAL博多リバレイン店 (21年8月閉鎖)	30,281		7,395	
クイズモール博多店	16,789		18,871	
黒崎井筒屋店	23,580		21,191	
小倉魚町店	21,342		21,840	
天神店 (21年8月開店)	-		27,446	
C天神店	30,342		27,023	
Cキャナルシティ博多店	22,445		25,005	
S中間店	12,873		12,269	
S宗像店	19,192		17,673	
Sメイト黒崎店	10,438		9,531	
S天神西通り店	19,865		18,522	
S西新店	17,274		16,536	
福岡県計	427,771	13.2	405,634	13.1
S長崎夢彩都店	15,464		15,287	
長崎県計	15,464	0.5	15,287	0.5
熊本光の森店 (20年12月開店)	-		17,332	
C熊本下通店	36,464		34,667	
熊本県計	36,464	1.1	51,999	1.7

店名	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
Sイオンモール三光店	10,363		9,398	
Sパークプレイス大分店	16,396		16,553	
大分県計	26,760	0.8	25,952	0.8
本社	66,241	2.1	67,317	2.2
合計	3,230,324	100.0	3,094,385	100.0

(注) 上表の店名について店名だけのものは「TAYA」であり、「C」とあるのは「クレージュ・サロン・ボーテ」、
「T&C」とあるのは「TAYA&CO.GINZA」、「CP」とあるのは「Capelli Punto N.Y.」、「S」とあるのは
「Shampoo」、「bh」とあるのは「beautiful hair」、「MD」とあるのは「MICHEL DERVYN」の略でありま
す。

(4) 美容室の顧客収容能力及び入客実績

都道府県	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)				当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)			
	椅子数 (席)	構成比 (%)	来店客数 (人)	構成比 (%)	椅子数 (席)	構成比 (%)	来店客数 (人)	構成比 (%)
北海道	2,300	1.3	4,398	1.0	2,300	1.3	4,259	0.9
宮城県	990	0.5	1,460	0.3	1,104	0.6	2,382	0.5
埼玉県	6,131	3.4	10,501	2.4	6,336	3.5	11,194	2.8
千葉県	18,108	9.9	37,702	8.5	18,124	9.9	36,900	8.5
東京都	57,613	31.5	143,125	32.3	57,861	31.6	141,135	32.4
神奈川県	30,004	16.4	72,843	16.4	31,598	17.3	72,051	16.5
新潟県	3,036	1.7	6,509	1.5	3,036	1.7	6,336	1.5
岐阜県	2,484	1.4	5,670	1.3	1,569	0.8	4,760	1.1
愛知県	3,312	1.8	6,834	1.5	2,116	1.2	5,557	1.3
三重県	1,196	0.7	3,692	0.8	1,196	0.6	3,937	0.9
京都府	5,231	2.9	13,665	3.1	5,244	2.9	13,669	3.1
大阪府	12,643	6.9	36,075	8.1	12,658	6.9	33,278	7.6
兵庫県	6,296	3.4	11,980	2.7	6,310	3.4	10,368	2.4
広島県	3,989	2.2	4,736	1.1	3,989	2.2	4,424	1.0
愛媛県	1,104	0.6	3,507	0.8	1,104	0.6	3,941	0.9
福岡県	23,398	12.8	62,151	14.0	22,216	12.3	59,761	13.9
長崎県	1,196	0.7	4,990	1.1	1,196	0.6	4,778	1.1
熊本県	1,380	0.7	4,244	0.9	2,576	1.4	6,713	1.5
大分県	2,208	1.2	9,616	2.2	2,208	1.2	9,449	2.1
合計	182,619	100.0	443,698	100.0	182,741	100.0	434,892	100.0

(注) 椅子数につきましては、各店舗のセット椅子数に当該期間の営業日数を乗じて算出しております。

2【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整が一段落し、昨年秋以降の急速な景気の悪化に底打ちの兆しがあるとの見方もありますが、急激な円高の進行などを背景とした企業業績の悪化、設備投資の見直し、雇用情勢・所得環境の低迷など実態経済は依然として厳しい状況が続いております。

美容業界におきましても、所得減少や雇用への先行き不安感から消費者の節約・儉約志向が進行し、引き続き経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、「約束」を今年のテーマとし、美容師として髪のプロとして、お客様一人ひとりのニーズに応え満足していただけることを「お約束」し、お客様の信頼を獲得し積み上げることにより、業績の回復に努めてまいりました。また、若い美容師の早期育成を図る為の特別教育プログラム「TAYAアカデミー」も今年4月に開講するなど、技術・接客の向上に向けた社員教育に取り組んでまいりました。

店舗といたしましては、当第2四半期会計期間において、美容室3店舗（TAYA天神店、Shampoo綱島店、TAYA二子玉川店）の新規出店を行い、一方で近隣店舗への統合の為、美容室3店舗（TAYA天神コア店、TAYA博多リバレイン店、Shampoo岐阜リバーサイドモール店）を閉鎖し、スクラップ&ビルドによる収益基盤の強化も図ってまいりました。当第2四半期会計期間末の美容室数は、144店舗であります。

しかしながら、個人の消費マインドの冷え込みは依然として厳しく、来店周期の伸びや新規客の減少による入客数の減少（既存店ベースで前年同期比2.2%減）や、注文施術の減少等による客単価の低下（既存店ベースで前年同期比2.7%減）により、売上高も既存店ベースで前年同期比4.8%減となりました。

以上の結果、当社の第2四半期会計期間の業績は、売上高3,094百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失46百万円（前年同期は営業利益78百万円）、経常損失43百万円（前年同期は経常利益81百万円）となり、また、店舗閉鎖等による固定資産除却損43百万円や減損損失30百万円を特別損失に計上し、四半期純損失は85百万円（前年同期は純利益35百万円）となりました。尚、第2四半期累計期間の業績は、売上高6,240百万円、営業損失163百万円、経常損失159百万円、四半期純損失223百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は(以下資金という。)第1四半期末に比べ307百万円減少し、891百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間において、営業活動の結果支出した資金は23百万円(前年同四半期は243百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失113百万円に対して、賞与引当金の増加額104百万円、減価償却費62百万円、売上債権の減少額41百万円があったものの役員退職慰労金の支払額50百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間において、投資活動の結果使用した資金は142百万円(前年同四半期は131百万円の使用)となりました。

これは主に、新規出店にともなう有形固定資産の取得133百万円、敷金及び保証金の純増16百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間において、財務活動の結果使用した資金は141百万円(前年同四半期は298百万円の使用)となりました。

これは主に、長短借入金の純減4百万円(前年同四半期は166百万円の純減)、社債の償還90百万円、配当金の支払額33百万円があったことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期会計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金調達の方針

当社は、事業活動を支える資金の調達に際して、低コストかつ安定的な資金の確保を重視しております。

なお、借入による資金調達に関しましては、平成21年9月30日現在、短期借入金の残高は284百万円、長期借入金の残高は1,235百万円(1年内返済予定の長期借入金371百万円含む)であります。

資金需要

主に新規出店時の設備投資及び建物賃貸借契約等に基づく敷金及び保証金の支払いがあります。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末に計画外であった主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末に計画中であった美容室3店舗を新設いたしました。

事業所名	所在地	設備内容	帳簿価額(千円)					従業員 (人)	収容能力 (席)	完成年月
			建物	構築物	器具備品	リース 資産	合計			
TAYA 天神店	福岡市中央区	美容室店舗 (新設)	47,133	-	-	4,938	52,071	32	19	平成21年8月
Shampoo 綱島店	横浜市港北区	美容室店舗 (新設)	22,632	-	-	-	22,632	12	13	平成21年9月
TAYA 二子玉川店	東京都世田谷区	美容室店舗 (新設)	34,955	-	-	4,566	39,521	16	14	平成21年9月

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末に計画中であった美容室3店舗を閉鎖いたしました。

事業所名	所在地	設備内容	帳簿価額(千円)					従業員 (人)	収容能力 (席)	除却年月
			建物	構築物	器具備品	その他	合計			
TAYA 天神コア店	福岡市中央区	美容室店舗 (閉鎖)	3,766	-	-	-	3,766	10	10	平成21年8月
TAYA INTERNATIONAL 博多リバレイン店	福岡市博多区	美容室店舗 (閉鎖)	15,183	-	-	-	15,183	15	24	平成21年8月
Shampoo 岐阜リバーサイドモール店	岐阜市本巣市	美容室店舗 (閉鎖)	4,523	-	-	-	4,523	8	15	平成21年8月

- (注) 1. 金額は、閉鎖時の帳簿価額であります。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,100,000	5,100,000	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	5,100,000	5,100,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	5,100,000	-	1,480,180	-	1,702,245

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ティーズ	横浜市青葉区美しが丘西3-8-26	1,525	29.90
田谷 哲哉	横浜市青葉区	254	4.99
入江 健雄	川崎市麻生区	201	3.94
株式会社赤城自動車教習所	群馬県佐波郡赤堀町大字今井564	136	2.67
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	105	2.07
TAYA社員持株会	東京都渋谷区神宮前2-18-19	95	1.87
佐藤 桂子	東京都千代田区	69	1.35
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	60	1.17
田谷 和正	横浜市青葉区	57	1.12
濱野 統一	千葉県山武郡大網白里町	57	1.12
計	-	2,562	50.24

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、それぞれ105千株、60千株であります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 42,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,056,100	50,561	-
単元未満株式	普通株式 1,200	-	-
発行済株式総数	5,100,000	-	-
総株主の議決権	-	50,561	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社田谷	東京都渋谷区神宮前2-18-19	42,700	-	42,700	0.83
計	-	42,700	-	42,700	0.83

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	765	690	740	761	750	759
最低(円)	656	630	671	695	719	710

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人和宏事務所による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,202,405	1,712,841
売掛金	463,835	539,254
商品	43,857	43,110
美容材料	34,126	36,992
その他	441,703	296,620
貸倒引当金	1,295	1,528
流動資産合計	2,184,633	2,627,292
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,914,871	1,936,081
土地	1,377,828	1,377,828
その他(純額)	91,207	84,213
有形固定資産合計	3,383,907 ₁	3,398,124 ₁
無形固定資産	46,916	31,941
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,163,792	2,166,628
その他	552,148	559,972
貸倒引当金	11,724	11,733
投資その他の資産合計	2,704,217	2,714,867
固定資産合計	6,135,041	6,144,933
資産合計	8,319,674	8,772,225
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,536	432,172
短期借入金	284,800	139,700
1年内返済予定の長期借入金	371,760	400,492
1年内償還予定の社債	40,000	130,000
未払費用	539,781	518,785
未払法人税等	56,704	193,202
賞与引当金	211,589	222,450
その他	407,417	473,400
流動負債合計	2,370,589	2,510,202
固定負債		
長期借入金	864,083	813,377
退職給付引当金	312,282	299,801
その他	262,608	303,645
固定負債合計	1,438,973	1,416,824
負債合計	3,809,563	3,927,027

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,446,259	1,781,316
自己株式	118,572	118,543
株主資本合計	4,510,111	4,845,198
純資産合計	4,510,111	4,845,198
負債純資産合計	8,319,674	8,772,225

(2) 【 四半期損益計算書 】
【 第 2 四半期累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	6,463,346	6,240,842
売上原価	5,561,736	5,618,464
売上総利益	901,610	622,377
販売費及び一般管理費	769,603	785,845
営業利益又は営業損失 ()	132,006	163,468
営業外収益		
受取利息	3,252	2,508
不動産賃貸料	7,269	7,127
その他	17,954	18,706
営業外収益合計	28,476	28,342
営業外費用		
支払利息	15,455	17,499
不動産賃貸費用	4,674	4,242
その他	5,813	2,543
営業外費用合計	25,942	24,286
経常利益又は経常損失 ()	134,539	159,411
特別利益		
退店補償金	82,909	-
受取保険金	7,805	-
会員権償還益	-	3,755
貸倒引当金戻入額	470	242
特別利益合計	91,184	3,997
特別損失		
固定資産除却損	29,681	47,198
減損損失	7,759	30,905
役員退職慰労金	-	50,000
その他	1,986	-
特別損失合計	39,427	128,103
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	186,296	283,518
法人税、住民税及び事業税	116,816	29,834
法人税等調整額	6,230	89,555
法人税等合計	110,585	59,721
四半期純利益又は四半期純損失 ()	75,711	223,797

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,230,324	3,094,385
売上原価	2,767,298	2,757,906
売上総利益	463,026	336,479
販売費及び一般管理費	384,887	383,336
営業利益又は営業損失()	78,138	46,857
営業外収益		
受取利息	2,022	952
不動産賃貸料	3,537	3,607
その他	10,143	11,113
営業外収益合計	15,704	15,672
営業外費用		
支払利息	7,635	8,879
不動産賃貸費用	1,684	1,646
その他	2,977	1,821
営業外費用合計	12,296	12,348
経常利益又は経常損失()	81,545	43,532
特別利益		
退店補償金	20,000	-
受取保険金	7,805	-
会員権償還益	-	3,755
貸倒引当金戻入額	170	-
特別利益合計	27,975	3,755
特別損失		
固定資産除却損	21,952	43,188
減損損失	-	30,905
特別損失合計	21,952	74,093
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	87,568	113,871
法人税、住民税及び事業税	101,671	14,636
法人税等調整額	49,348	42,916
法人税等合計	52,322	28,280
四半期純利益又は四半期純損失()	35,246	85,591

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	186,296	283,518
減価償却費	110,744	121,688
減損損失	7,759	30,905
賞与引当金の増減額 (は減少)	22,514	10,860
退職給付引当金の増減額 (は減少)	5,067	12,480
貸倒引当金の増減額 (は減少)	470	242
受取利息	3,252	2,508
支払利息	15,455	17,499
固定資産除却損	29,681	23,473
退店補償金	82,909	-
受取保険金	7,805	-
会員権償還益	-	3,755
役員退職慰労金	-	50,000
売上債権の増減額 (は増加)	80,395	75,418
たな卸資産の増減額 (は増加)	9,168	9,240
仕入債務の増減額 (は減少)	52,081	26,364
その他	91,474	12,937
小計	314,916	79,123
利息の受取額	2,534	3,593
利息の支払額	15,590	17,925
退店補償金の受取額	82,909	-
保険金の受取額	42,673	-
役員退職慰労金の支払額	-	50,000
法人税等の支払額	165,037	164,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,405	149,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	654,868	570,869
定期預金の払戻による収入	486,957	555,980
有形固定資産の取得による支出	91,729	267,779
敷金及び保証金の差入による支出	51,739	43,820
敷金及び保証金の回収による収入	47,698	15,903
会員権の償還による収入	-	3,800
その他	5,695	9,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	269,376	316,340

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	507,000
短期借入金の返済による支出	356,900	361,900
長期借入れによる収入	96,000	235,000
長期借入金の返済による支出	179,404	213,026
長期未払金の返済による支出	3,796	15,872
リース債務の返済による支出	1,334	10,210
社債の償還による支出	90,000	90,000
自己株式の取得による支出	-	29
配当金の支払額	110,594	110,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,028	59,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	170
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	303,000	525,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,190,095	1,416,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	887,095	891,447

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は1,869,123千円です。</p> <p>2.偶発債務</p> <p>保証債務</p> <p>社員独立支援制度に基づく 元社員の金融機関から 11,920千円 の借入に対する保証</p> <p>3.当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当第2四半期会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <p>当座貸越極度額 300百万円 借入実行残高 120百万円 差引額 180百万円</p>	<p>1.有形固定資産の減価償却累計額は1,834,420千円です。</p> <p>2.偶発債務</p> <p>保証債務</p> <p>社員独立支援制度に基づく 元社員の金融機関から 13,582千円 の借入に対する保証</p>

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与・賞与 283,927千円 賞与引当金繰入額 52,715千円 退職給付費用 2,585千円</p>	<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与・賞与 287,172千円 賞与引当金繰入額 62,931千円 退職給付費用 2,762千円</p>

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与・賞与 137,104千円 賞与引当金繰入額 26,713千円 退職給付費用 1,292千円</p>	<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与・賞与 140,290千円 賞与引当金繰入額 33,150千円 退職給付費用 1,381千円</p>

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期末貸借対 照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期末貸借対 照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 1,477,050	現金及び預金勘定 1,202,405
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等 589,955	預入期間が3ヶ月を超える定期預金等 310,958
現金及び現金同等物 887,095	現金及び現金同等物 891,447

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 5,100千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 42千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月16日 定時株主総会	普通株式	111,259	22	平成21年3月31日	平成21年6月17日	利益剰余金

(有価証券関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)

前事業年度の末日に比べて著しい変動はありません。

(持分法損益等)

前第2四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

前第2四半期会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

項目	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	891.81	958.07

2. 1株当たり四半期純利益金額

項目	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(円) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	14.97 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	44.25 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	75,711	223,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は純損失金額()(千円)	75,711	223,797
期中平均株式数(千株)	5,057	5,057

項目	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(円) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6.97 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	16.92 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	35,246	85,591
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は純損失金額()(千円)	35,246	85,591
期中平均株式数(千株)	5,057	5,057

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

株式会社田谷
取締役会 御中

監 査 法 人 和 宏 事 務 所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 荒木 正博 印

業務執行社員 公認会計士 坂本 恒夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社田谷の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第35期事業年度の第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社田谷の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 . 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月10日

株式会社田谷
取締役会 御中

監 査 法 人 和 宏 事 務 所

代表社員 公認会計士 塩崎 省三 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 坂本 恒夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社田谷の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第36期事業年度の第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社田谷の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 . 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。